



富小だより

学校の教育目標

○明るく強い子 ○思いやりのある子 ○学習にはげむ子

釧路町立富原小学校
第2号
令和8年4月27日
校長 笹川 義孝

右のQRコードより、富原小のHPがお気軽にご覧になれますので、ぜひご覧ください！



令和8年 5月の富原小

富原小の伝統は富原小らしさ

校長 笹川 義孝

先月の卒業式では、卒業生に、本校の「伝統」を守ってくれたことにお礼をしました。今月の入学式では、新入生の保護者の皆様に、本校には上級生が手本を示し、その姿を見て下級生が成長する「よき伝統」があることをお伝えしました。「伝統」とは世代をこえて受け継がれた慣習のことです。皆様が当たり前と思っている日常の慣習に本校のよさが表れています。二つの実例でご説明します。

○ランドセル登校…全員が六年間背負っています。児童にとってなくてはならない物です。私は小学生だった昔、高学年になるとカバンをショルダーバック等へ自由に替えるのが流行していた学校に通ってました。便利な収納機能がないそのカバンは格好いいだけでとても不便でありました。ランドセルは教科書やタブレットのサイズに適し、丈夫でかつ健康面に配慮されている優れた物です。また、1年生は反射材付きのランドセルカバーを付け存在を示すことで安全を保っています。卒業まで使い続けることで物を大切に作る心が育ちます。そして、入学時にランドセルを用意なさった方の愛情と願いが込められています。ランドセル登校は当たり前ではなく、素晴らしい伝統です。

○靴箱に納まる靴の向きが全員同じ…「かかと」が見える向きにして納めています。上靴と外靴の納める所を区別して使っています。多くの学校が同じです。私の場合、家にある靴箱に納まる靴の向きは学校と反対です。(複数で使うため誰の靴なのか見分けやすいからです)。ですから全員が同じであることは凄いことなのです。いつ靴箱を見に行っても必ず同じに納まっています。

他にもたくさんあります。教室のロッカーに納まるランドセルの「向き」は全員が同じで、給食配膳時の服装が整っていて、職員室に入る時のマナーが皆同じで、休み時間はどこにいてもチャイムが鳴れば次の学習に動き出すなどなど。教職員が指導したことはありませんが、無意識に行うくらい当たり前になっています。この素晴らしいこと一つ一つが富原小学校の「伝統」であります。そして「富原小らしさ」となっています。

伝統がいっぱいある富原小です。でも、もっともっと増やしたいです。例えば、全職員で毎日指導していますが、廊下歩行は全員が完璧とはいえません。挨拶を「自分からしっかりと」する子は全員ではありません。私自身、廊下を走ることはありませんが、挨拶がしっかりとできているかと自問自答すると自信がありません。一つ一つの事柄を一人一人が自らを見つめ、一歩前進して富原小学校らしい一年にしたいと考えています。

～お願い～

まもなく今年度を開始して一ヶ月となります。お子様の家庭での様子はいかがでしょう。新しい環境での生活は、緊張によって疲労が蓄積していると思います。平日は睡眠を十分にとり、休日はリラックスして過ごし疲労回復なさってください。

先日、総務省が子どもの SNS 利用をめぐる事業者への規制強化に乗り出すとの報道がありました。SNS を不適切な利用をするとリスクが発生します。ご家庭のルールを徹底されることと同時に、よりよい人との関わりを築くようお子さんの様子を日頃から確認されることが予防になります。まもなく連休を迎えますので、外出時の安全・マナー指導を含めてお子さんへの声かけをお願いいたします。

| 日にち | 曜日 | 時程 | 予定行事～現段階の予定となります～ |
|-----|----|----|--|
| 1 | 金 | | 振替休日(土曜参観日) |
| 2 | 土 | | |
| 3 | 日 | | 憲法記念日 |
| 4 | 月 | | みどりの日 開校記念日 |
| 5 | 火 | | こどもの日 |
| 6 | 水 | | 振替休日 |
| 7 | 木 | | ALT・町研推進大会(研修会のため午前授業 眼科検診(1-6学年)) |
| 8 | 金 | B | 児童委員会前期② |
| 9 | 土 | | |
| 10 | 日 | | |
| 11 | 月 | | ALT・児童集会(任命式)・図書貸出開始 1年生を迎える会 |
| 12 | 火 | B | |
| 13 | 水 | | ALT・いじめアンケート①・内科検診(1・4年) 学校運営協議会① |
| 14 | 木 | | ALT・尿検査1次 |
| 15 | 金 | | フィールド研究・歯科検診(3・6年) 校外学習(1年別保公園) |
| 16 | 土 | | |
| 17 | 日 | | |
| 18 | 月 | B | ALT 歩こうウィーク |
| 19 | 火 | B | 児童委員会前期③ |
| 20 | 水 | | ALT・租税教室(6年) 内科検診(2・5年) |
| 21 | 木 | | ALT |
| 22 | 金 | | フィールド研究・歯科検診(1・4年) |
| 23 | 土 | | |
| 24 | 日 | | |
| 25 | 月 | | ALT・児童集会・さくらんぼの会 |
| 26 | 火 | B | 児童委員会前期④ |
| 27 | 水 | | ALT・内科検診(3・6年) |
| 28 | 木 | | ALT |
| 29 | 金 | | 耳鼻科検診(1・4年) |
| 30 | 土 | | |
| 31 | 日 | | ふれあい花壇造成作業 |



～ゴールデンウィーク中は留守番電話対応となります～

5月1日(金)から6日(水)まではゴールデンウィークとなり、振替休業日と祝祭日のため、学校は、留守番電話による対応となります。不審者被害や事件・事故に巻き込まれた場合は、迷わず警察(110番)、救急(119番)に連絡をするようお願いいたします

入学おめでとうございます!!



4月8日(水)、やわらかい春の光に包まれながら入学式が行われました。保護者の皆さまや来賓の方々、教職員に見守られ、ぴかぴかの1年生53名が元気に本校へ仲間入りしました。広い体育館や新しい友達との出会いに、少し緊張しながらも背筋を伸ばし、瞳を輝かせる姿がとても印象的でした。

翌日からは、6年生が朝のお迎えや掃除、給食の後片付けなどで1年生を優しくサポートしています。給食の盛り付けでは2年生が見本となり、上級生みんなで新入生の学校生活をサポートしています。1年生を中心に、2年生以上の子どもたちもお兄さん・お姉さんとして成長している姿がみられます。

地域の皆さまにも温かく見守られながら、1年生は毎日元気いっぱい学校生活をスタートしています。これからの成長を、教職員一同心より楽しみにしています。

充実した支援体制を今年度も継続します

本校では、子どもたちが主体的に取り組み、「わかる」「できる」を実感することで自信を高めることができるよう、多くの教員が関わりながら授業を行っています。

今年度も算数科の授業において、1学級2名体制で行うT、Tや1学年を3～4グループに分けて行う少人数指導を全学年で実施しています。3年生以上では理科専科教諭による充実した学習指導、6年生においては中学校との接続も意識した外国語の学習指導も実施してまいります。また、困り感を抱える子どもたちの支援を行うすてっぷ教室も今年度も継続して開設されます。通常学級にサポートで入って、支援をしてもらうこともできます。学校生活をより豊かに、充実したものにできるよう、きめ細かく対応させていただきますので、ご安心ください。

さらに、スクールカウンセラーの活用もできます。お子さんの発達や学校生活の中で抱えられたお悩みを、学校までお気軽にご相談ください。なお、本校に関わるスクールカウンセラーの先生は以下の通りです。

(道教委派遣スクールカウンセラー)

・小渕 隆司 先生 ・佐藤 千恵子 先生

(町派遣スクールカウンセラー)

・村上 沙由里 先生

交通安全教室 ～自分の命を守るために～

4月22日(水)は、釧路警察署交通第一課の方に来校いただき、1年生交通安全教室を実施しています。子ども達は交通安全に向けた意識を改めることができているようです。中・高学年においては、KDSのご協力により、シミュレーターを用いた自転車利用に関わる安全教室を実施しています。

来週から、大型連休に入ります。富原小学校は校区が広く、交通量が多い通りがたくさんあります。それぞれのご家庭におかれましても、安全な登下校、放課後の自転車利用などについてお話いただけたらと思います。



PTA活動スタート!

授業参観後のオンラインPTA総会へのご出席、本当にありがとうございました。いただいた意見書をもとに、令和8年度も子どもたちの笑顔のために活動してまいります。皆様のほんのちょっとのご協力が、子どもたちの豊かな学校生活につながります。今年度もあたたかいご協力をどうぞよろしくお願いいたします。

子どもたちの気持ちに寄り添う相談窓口のご案内

新しい学年が始まり、子どもたちは毎日たくさんを感じながら過ごしています。楽しい気持ちがふくらむ一方で、ちょっとした不安や疲れがたまってしまうこともあります。特に、ゴールデンウィークのような連休明けは、心の調子が揺れやすい時期といわれています。学校でも子どもたちの様子を見守っていますが、学校以外にも気軽に相談できる窓口があります。北海道では「北海道子ども相談支援センター」をはじめ、悩みごとや心配ごとを話せる場所が用意されています。

「こんなこと相談していいのかな…」という小さなことでも大丈夫です。お子さんの様子で気になることがありましたらどうぞ無理をせず、これらの窓口もご活用ください。

北海道子ども相談支援センター 電話：0120-3882-56 メール：sodan-center@hokkaido-c.ed.jp

また、北海道教育委員会が設置している相談窓口「おなやみポスト」は、子どもたちが直接伝えづらい悩みを相談できる窓口です。タブレットやスマートフォンから、学校に伝えたいことをいつでも送ることができ、内容は学校や教育委員会につながります。先生に直接は言いにくいこと、小さな心配ごとでも大丈夫です。お子さんが安心して学校生活を送れるよう、家庭でも「こんな窓口があるよ」とお声かけいただければと思います。どちらも学校HPに資料を掲載しておりますので右記QRコードからご確認ください。

